



あなたのワン・プロジェクトを、明るく楽しくサポートします！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第64号

「超図解 最強に面白い量子論」を読みました！



皆さん、コロナに留意しつつお元気でしょうか。8月は猛暑、いや酷暑の毎日でしたね。冷房の効いている部屋にいますが、ページ数の多い本を読むのは疲れます。ということで、今回は「ニュートン式 超図解 最強に面白い!! 量子論 (ニュートンプレス、¥990、和田純夫監修)」を、ご紹介します！

125 ページなので文字数が少ないです。しかもイラストを多用しているので、さらに文字数が少ない(笑)。では、サラッと理解できるかと言えば、そうはいきません。何せテーマが「量子論」ですから。イラストをたくさん使って説明していても簡単には分かりません。では、なんでこの本を読もうと思ったのか？

ビジネス系の本ばかり読んでいると、思考の幅が狭くなる可能性があります。なので、普段読むことがない異分野の入門書を読み、**わけのわからんことを知ることで、思考の幅を広げられると考えたのです。**ちなみに、量子論の世界をサイズで表すと 1000 万分の 1 ミリメートル以下になります。このようなマイクロ世界において、わけのわからんことが常識になっているのです。まずは、量子論の前提となる 2 つの重要事項をご紹介しますおきましょう。

1. **波と光の二面性：光や電子は、波でもあり粒子でもある。**
2. **状態の共存：ひとつの電子は同時に複数の場所に存在する。**

前提からして、わけがわかりませんね(笑)。ただ、上記の重要事項は実験で証明されていますので、決してインチキな話ではありません。それと、知らないうちに日常生活で量子論が使われています。例えば、リニアモーターカーは「超伝導」という技術を活用しています。さらに、植物の「光合成」は光のエネルギーを化学エネルギーに変換する反応です。こうした技術や反応は、量子論を使わないと説明することができないのです。ちなみにパソコンやスマホに使用する半導体も、量子論にもとづく技術が使われています。

では、量子論のこれからの活用について触れておきましょう。まずは「量子コンピュータ」です。名前くらいは聞いたことがあると思います。量子コンピュータは「状態の共存」を利用して計算を行うマシンですが、まだ研究開発中であり、20~30 年後には実用化されると言われています。

そして「量子テレポーテーション」という技術。これは A 地点から遠隔地の B 地点に物質を転送するものです。スタートレックでエンタープライズ号から探査する惑星に乗組員を転送していましたが、そんなイメージですね。現時点では空想レベルの話ですが、ミクロレベルの物質については転送に成功しているのです。何十年後には現実になっているかもしれませんね。ということで、**わけのわからん話が続いて、頭が混乱していると思いますが、それが狙いです。だいぶ凝りがほぐれて、柔らかくなっているはず(笑)。**

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒540-0034 大阪市中央区島町 2 丁目 2 番 3 号 サハム天満橋 402

発行日 2020 年 9 月 1 日

TEL06-6920-3191 Email: info@1project-support.com

<https://1project-support.com>

FAX06-6920-3192

Copyright 2020 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved